

3 職業安定局

職業安定局では、国民ひとりひとりがその能力にふさわしい職業に就き、安定した職業生活を送ることができるようになるとともに、企業が必要とする労働力の充実を促進し、経済及び社会の発展を図ることを目的として、雇用政策に関する企画・立案、ハローワークの行う公的職業紹介事業の運営、雇用保険制度の運営等の業務を行っています。

ハローワークってどんなところ？

皆さんは「ハローワーク」に行ったことがありますか？多くの学生にとっては縁がないところかもしれませんがね。職業安定局での業務は、主にこのハローワークで実施されています。ハローワークは全国に500カ所以上あり、失業者への雇用保険の給付による生活の支援や、事業主に対して雇用を守るための各種助成金の支給業務、仕事を探す人と求める人を繋げる場所としての役割を担っています。

ハローワークには一般の方が訪れるところの他に、例えば、子どもを連れて女性のためのところ（マザーズハローワーク）もあるんです。



求人情報検索機の隣のキッズコーナー
〈マザーズハローワーク〉

求人倍率って？

ハローワークで支援を受けた全ての方の情報は、ハローワークシステムに入力され、そのデータを集計して業務報告として毎月公表されています。この中で、数値職が担当しているのは、雇用統計では特に重要な「有効求人倍率」があります。有効求人倍率とは、

ハローワークで職を探している人1人당りに何件の求人数があるか。

この有効求人倍率から以下のような様々な角度からの分析が行われています。

都道府県ランキング

景気の波に沿って変動する有効求人倍率、好景気の時と不景気の時で様相が異なってきますが、平成26年度はどこがトップだったでしょうか？

結果は……大企業が集まる東京都が1位でした！

東京都は、大企業が中心となって大口の求人が出ているなど、常に全国ではトップクラスの有効求人倍率となっています。2位はやはり大都市圏の愛知県ですが、3位には福井県が入っています。

福井県は、製造業が盛んであり、女性の有業率が高い地域です。そうした背景により、景気の動向に影響も受けにくく、高い有効求人倍率の水準となっています。

県別ランキング

1位	東京都	1.61
2位	愛知県	1.53
3位	福井県	1.50
45位	鹿児島県	0.78
46位	埼玉県	0.76
47位	沖縄県	0.73

(平成26年度の有効求人倍率)